

平成 28 年度岩手県計画に関する 事後評価

平成 29 年 9 月
岩手県
(令和 3 年 11 月追記)

※ 本紙は、計画期間満了の翌年度まで、毎年度追記して国に提出するとともに、公表することに努めるものとする。

(令和 2 年度事業実施分のみ)

3. 事業の実施状況

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業									
事業名	【No.1 (介護分)】 岩手県介護施設等整備事業	【総事業費 (計画期間の総額)】 103,200 千円								
事業の対象となる医療介護総合確保区域	盛岡区域、岩手中部区域、胆江区域、両磐区域、気仙区域、釜石区域、宮古区域、久慈区域、二戸区域									
事業の実施主体	岩手県									
事業の期間	平成 28 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 3 1 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了									
背景にある医療・介護ニーズ	介護を要する高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう地域密着型サービスの提供体制の充実を支援する。 アウトカム指標：地域密着型特別養護老人ホーム等の合計床数 4,276 床									
事業の内容	<p>①地域密着型サービス施設等の整備に対する助成を行う。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">主な整備予定施設等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td>58 床 (2 カ所)</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>18 床/月分 (2 カ所)</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>90 床 (7 カ所)</td> </tr> </tbody> </table> <p>②介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対して支援を行う。 ③介護施設等の整備に必要な定期借地権設定のための一時金に対して支援を行う。 ④介護サービスの改善を図るための既存施設等の改修に対して支援を行う。</p>		主な整備予定施設等		地域密着型特別養護老人ホーム	58 床 (2 カ所)	小規模多機能型居宅介護事業所	18 床/月分 (2 カ所)	認知症高齢者グループホーム	90 床 (7 カ所)
主な整備予定施設等										
地域密着型特別養護老人ホーム	58 床 (2 カ所)									
小規模多機能型居宅介護事業所	18 床/月分 (2 カ所)									
認知症高齢者グループホーム	90 床 (7 カ所)									
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの実現に向けて、第 6 期介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行う。 ・地域密着型介護老人福祉施設 1,155 床 (5 期末) → 1,651 床 ・認知症高齢者グループホーム 2,278 床 (5 期末) → 2,625 床 									
アウトカムとアウトプットの関連	地域密着型サービス施設等の整備を行うことにより、地域密着型特別養護老人ホーム及び認知症高齢者グループホームの合計床数を増とす									
アウトプット指標 (達成値)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型介護老人福祉施設 1,155 床 (5 期末) → 1,614 床 ・認知症高齢者グループホーム 2,278 床 (5 期末) → 2,537 床 									
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：地域密着型特別養護老人ホーム等の合計床数 4,276 床 ⇒事業実施中									

	<p>(1) 事業の有効性 アウトカム指標には届かなかったものの、地域密着型サービス施設等の整備により地域密着型介護老人福祉施設及び認知症高齢者グループホームの床数が増加し、高齢者が地域において、安心して生活できる体制の構築が進んでいる。</p> <p>(2) 事業の効率性 調達方法や手続について情報提供することで一定の共通認識が得られ、効率的な施設整備が図られた。</p>
その他	

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.2】 新人介護職員指導者支援事業	【総事業費】 540 千円
事業の対象となる区域	盛岡区域、岩手中部区域、胆江区域、両磐区域、気仙区域 釜石区域、宮古区域、久慈区域、二戸区域	
事業の実施主体	市町村・関係団体	
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	多様な介護人材を確保し、高齢者が地域において安心して生活できる体制の構築を図る。 アウトカム指標：研修に参加した事業所内の離職率の改善	
事業の内容（当初計画）	新人介護職員に対するエルダー、メンター制度等を実施していない介護事業所の事業主（施設長、管理者）を対象に、制度の浸透を図る。併せて、エルダー、メンターとなり新人介護職員を直接教育・指導する職員のスキルアップを図る。 研修開催回数：2回 受講対象：県内の介護事業所の新人職員の指導に携わる者（管理者、中堅職員等）	
アウトプット指標（当初の目標値）	介護事業所における新人介護従事者等の早期離職防止に資するため、事業所の管理者や中堅職員等を対象に新人職員を支える組織体制の理解醸成及びその手段となる技術の取得に関する研修会を開催し、新人介護従事者等の指導者を養成する。 ・講習参加事業所数 60 事業所（2回）	
アウトプット指標（達成値）	講習参加事業所数 24 事業所（2回）	
事業の有効性・効率性	講習会2回の実施。 参加事業所数 24 事業所、参加者 53 名	
	（1）事業の有効性 従事後1年未満の離職が多いことから、新人介護従事者を支える体制作りが必要であり、本事業は有効である。	

	<p>(2) 事業の効率性</p> <p>コロナ禍での開催となったことから、目標 60 事業所に対し、実績 24 事業所であったが、効率的な事業実施ができていたものと思われる。</p>
その他	

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.3】 地域包括ケアシステム基盤確立事業 (リハ職向け研修)	【総事業費】 80 千円
事業の対象となる区域	盛岡区域、岩手中部区域、胆江区域、両磐区域、気仙区域、釜石区域、宮古区域、久慈区域、二戸区域	
事業の実施主体	岩手県（委託事業として実施）	
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	市町村が実施する地域支援事業に位置付けられた介護予防・日常生活支援総合事業において、地域リハビリテーションの実現に向けたリハビリテーション専門職の参画に資する環境の整備 アウトカム指標：地域リハビリテーション事業におけるリハビリテーション専門職の参画市町村 33	
事業の内容（当初計画）	介護予防事業へのリハ職活用に係る研修会の実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	<ul style="list-style-type: none"> ・リハ職向け基礎研修（1回/年） ・実践者研修（1回/年） ・多職種連携研修（2回/年）等の開催 	
アウトプット指標（達成値）	<ul style="list-style-type: none"> ・リハ職向け基礎研修、実践者研修、多職種連携研修ともに新型コロナウイルス感染拡大のため中止 	
事業の有効性・効率性	<p>地域リハビリテーション事業におけるリハビリテーション専門職が参画した市町村数：延べ 21 市町村</p> <p>（3）事業の有効性 地域リハビリテーションの実現に向けて、リハビリテーション専門職における他業種との連携や、訪問リハ、通所リハに係る基礎的な研修カリキュラムを導入することで、リハビリテーション専門職の意識改革と人材養成、情報伝達を進める予定であったが、実施できなかった。</p> <p>（4）事業の効率性 いわてリハビリテーションセンターや3士会等の関係機関と連携して研修や会議を主催し、関係者間の共通認識のもと取組を促進する予定であったが、実施できなかった。</p>	
その他		